

『頑張る地方応援プログラム』に係るプロジェクトの公表について

総務省では、地方独自のプロジェクトを自ら考え、前向きに取り組む地方公共団体に対し、地方交付税等の支援措置を講じる『頑張る地方応援プログラム』を実施しています。

夕張市では、平成21年度において以下のプロジェクトを策定しましたので、ここに公表いたします。

頑張る地方応援プログラム

都道府県名	北海道	市町村名	夕張市
プロジェクト名	地域交通の維持プロジェクト	新規・継続の区分	継続
プロジェクトの目的、概要及び具体的な成果目標	<p>(目的、概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> 夕張市内のバス路線は、運営会社の経営健全化の観点から年を追って減便(H16年4月:80便/日 H18年5月:76便/日 H19年4月:43便/日)の傾向にあり、利用者の利便性は著しく減少している。 このバスの減便は、少子化や自家用車の使用、そして本市特有の事由(炭鉱閉山・市の財政破綻による人口流出)によるバス利用者の減少に起因するものである。 しかしながら、高齢者・障がい者・学生等のいわゆる交通弱者は自ら移動する手段を持たないため、南北に細長く集落の点在する夕張市においてこれ以上の交通の利便性が損なわれることは、市民の生活に著しい影響が生じ、地域の崩壊に繋がりがかねない。 よって、夕張市からバス会社へ補助を行い、バス運営会社の経営安定化の一助とし、以って市内交通体系の維持と過疎地域における地域住民の足を最低限確保する。 また、小中学生の通学時において、バス路線以外で遠距離通学を余儀なくされている、もしくは便数が著しく少なく登下校にバスを使用できない場合については、別途支援策を講じ、交通弱者の代表である小中学生の通学時の足を確保するものである。 <p>(具体的な成果目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内バス路線の今後の便数の維持。(19年度43便/日 21年度40便/日) 小中学生登下校の足の確保。(タクシー出動台数:19年度2,717台/年 21年度1,900台/年) 学校統廃合による純減数817は除いた。 		
プロジェクトの期間	平成19年度～平成21年度	政策分野の分類 (~)	まちなか再生プロジェクト
住民への公表の方法(ホームページアドレス等)	http://www.city.yubari.lg.jp/contents/municipal/gannbaru.pdf		
プロジェクトを構成する具体の事業・施策			
名称	事業概要	総事業費 (単位:千円) (うちH21事業費)	
交通問題対策事業	<ul style="list-style-type: none"> 市内交通体系を担うバスは、人口の大幅な減少・高齢化等により利用者が減少しているため、運営会社自身の経営努力(経費削減の合理化)をもってしても維持が困難な状況にある。 よって、地域住民の日常生活に支障をきたさないよう市内交通体系の維持を図るため、当市として最低限の補助を行うものである。 バス運営会社への補助 11,907千円(3年間) (H21年分 4,719千円) 	11,907 (4,719)	
遠距離通学等支援事業	<ul style="list-style-type: none"> 通学路に公共交通機関がない、もしくは著しく便数が少なく且つ遠距離通学を余儀なくされている小中学生の通学時の足を確保するため、タクシーによる輸送委託を行なう。 	14,657 (5,076)	
総 計		26,564 (9,795)	
その他特記事項			
特に無し			

頑張る地方応援プログラム

都道府県名	北海道	市町村名	夕張市
プロジェクト名	スポーツ合宿を通じた交流人口増加プロジェクト	新規・継続の区分	継続
プロジェクトの目的、概要及び具体的な成果目標	<p>(目的、概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> 夕張市の人口は昭和30年代をピークに減少の一途を辿り、現在は最盛期の10分の1程度となり、併せて高齢化率も全道一となっている。 山間狭小地であり且つ財政再建団体として長期の再建計画を遂行していくという重い命題を背負った本市としては、この人口減少をいかにくい止めまちの機能を維持していくかが大きな課題となっている。 同時に、既存の財産を有効に活用し市外から人を呼び寄せる施策を講じ、交流人口の増加というかたちで市の活性化に繋げていくことも重要である。 本プロジェクトは、外部からも評価の高い市の体育施設(国体開催の体育館、天然芝の陸上競技場・野球場)を積極的に活用し、スポーツ合宿を推進することにより、以って交流人口の増加と地域経済の安定・まちの活性化を図るものである。 <p>(具体的な成果目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> 夕張市内における年間合宿人口 H18年度 27千人 H21年度 30千人 		
プロジェクトの期間	平成19年度～平成21年度	政策分野の分類 (~)	観光振興・交流プロジェクト
住民への公表の方法(ホームページアドレス等)	http://www.city.yubari.lg.jp/contents/municipal/gannbaru.pdf		
プロジェクトを構成する具体の事業・施策			
名称	事業概要	総事業費 (単位：千円) (うちH21事業費)	
文化スポーツセンター管理事業	<ul style="list-style-type: none"> ゆうばり文化スポーツセンター(旧：総合体育館)は、夕張市のスポーツ合宿政策において屋内競技の拠点となるものであり、人工芝のテニスコート9面も併設している。札幌から近距離にあることから市外からの利用も高い施設である。 本事業はその文化スポーツセンターの運営維持管理を行ない、以ってスポーツ合宿を通じた交流人口の増加を図る。 	26,513 (8,541)	
平和運動公園管理事業	<ul style="list-style-type: none"> 平和運動公園は陸上競技場、野球場、多目的競技場等を併設し、天然芝を有する競技場として関係者からの評価は高く、市外から合宿・大会等多くの利用がされており、屋外競技の拠点としての機能を果たしている。 本事業は、スポーツ合宿他に用いるライン、ペイント等資材費購入を含め、運動公園管理全般を行ない、スポーツ合宿を側面から支援していくものである。 	15,985 (5,384)	
総 計		42,498 (13,925)	
その他特記事項			
特になし			

頑張る地方応援プログラム

都道府県名	北海道	市町村名	夕張市
プロジェクト名	市民の健康増進プロジェクト	新規・継続の区分	継続
プロジェクトの目的、概要及び具体的な成果目標	<p>(目的、概要) 夕張市民が生き活きと健やかに日常生活を送れるように、疾病の予防・早期発見に関わる健康診査業務、健康相談・指導を通じた教育業務を行ない、個人・地域・行政の連携による総合的な健康増進プロジェクトを推進する。</p> <p><具体的施策> 母子関係 ・健康診査 ・育児教室 ・予防接種 成人、高齢者関係 ・各種健康診査 ・健康相談、健康教育 ・予防接種</p> <p>(具体的な成果目標)</p> <p>1歳6ヶ月検診 H17年度 受診率 86.4% H21年度 受診率 100% 胃がん・肺がん・大腸がん検診 H17年度 受診者 平均1,083人 H21年度 受診者 平均 1,300人 子宮がん・乳がん検診 H17年度 受診者 平均215人 H21年度 受診者 平均 300人</p>		
プロジェクトの期間	平成19年度～平成21年度	政策分野の分類 (~)	その他
住民への公表の方法(ホームページアドレス等)	http://www.city.yubari.lg.jp/contents/municipal/gannbaru.pdf		
プロジェクトを構成する具体の事業・施策			
名称	事業概要	総事業費 (単位：千円) (うちH21事業費)	
市民保健ケア事業	健康診査、各種健康教室、予防接種事業等を通し疾病の予防、早期発見に努め以って市民の健康増進を図る。 母子関係 ・健康診査(妊婦一般健康診査、乳児健康診査、1歳6ヶ月児3歳児健康診査) ・すくすく育児教室 ・予防接種(三種混合、ポリオ、BCG、麻しん風疹混合) 成人、高齢者関係 ・健康手帳の交付 ・各種健康診査(健康診査、エキゾックス症検診 肝炎ウイルス検診、胃がん検診、大腸がん検診、肺がん検診、 乳がん検診、子宮がん検診、骨粗鬆症検診) ・健康相談、健康教育 ・予防接種(65才以上を対象にインフルエンザ予防接種料金の一部を補助)	59,168 (21,238)	
	総 計	59,168 (21,238)	
その他特記事項			
特に無し			

頑張る地方応援プログラム

都道府県名	北海道	市町村名	夕張市
プロジェクト名	環境保全のためのリサイクル促進プロジェクト	新規・継続の区分	継続
プロジェクトの目的、概要及び具体的な成果目標	<p>(目的、概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近年、環境問題が全国で話題に上っているが、地方自治体側も、持続可能な社会を目指すため、環境に配慮したいわば循環型の社会システムの構築のための活動を行っている。 ・夕張市においても、ゴミ減量化・資源の有効活用を目指し、空き缶・空き瓶・ペットボトル・紙パックなどの資源ゴミの回収に力を注いでいる他、市民レベルでゴミの分別の講習会、先進地見学会等にも取り組み市民意識の向上を図っている。 ・今後、この取り組みを一層進め、市の豊かな自然を守るとともにゴミの減量化・リサイクル向上に努めていく。 <p>(具体的な成果目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般廃棄物のリサイクル率 H18: 3.1% H21: 23.1% 		
プロジェクトの期間	平成20年度～平成21年度	政策分野の分類 (~)	環境保全プロジェクト
住民への公表の方法 (ホームページアドレス等)	http://www.city.yubari.lg.jp/contents/municipal/gannbaru.pdf		
プロジェクトを構成する具体の事業・施策			
名称	事業概要	総事業費 (単位：千円) (うちH21事業費)	
容器包装リサイクル収集事業	・資源ゴミとして空き缶(スチール、アルミ)、空き瓶、ペットボトル、紙パックの分別収集を行うもの。	65,920 (33,984)	
ゆうばり再生市民会議	・『ゆうばり再生市民会議』は、市民が今できることを共に考え実行する場として発足した市民レベルの会議である。 ・同会議の環境分会において、清掃・分別のボランティアを企画・実行するほか、市民・学生等が取り組んでいる環境、リサイクル活動を広報誌にて紹介するなど市民意識の向上に努めている。	0 (0)	
総 計		65,920 (33,984)	
その他特記事項			
特になし			